

Weekly Report

2025-26



よいことのために手を取りあおう

創立 / 1965年5月22日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30～
 会場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <https://www.kounan-rc.com/>
 Mail / kounanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 沢田 昌久 幹事 / 尾関 育良 会報委員長 / 野々垣 裕司

2026年(令和8年) 6月18日(木) 晴れ 第2875回(当年度第35回)例会

点 鐘 会長 沢田 昌久君
 司 会 SAA 川崎 良一君
 ローターソング斉唱 「それでこそロータリー」
 四つのテスト斉唱 森 弘好君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

会長 沢田 昌久君



こんにちは。
 いよいよこうして皆さんの前に出て話をするのも、残すところ2回ということになりました。
 後ほど、一年を振り返ってというテーマで卓話をさせて頂きますが、私にとって、このロータリーの会長という一年は本当に大変な一年でございました。
 たいしてロータリーを勉強したわけでも無く、そんな自分は会長が務まるのかという五里霧中感が絶えず付きまわっていました。
 しかし体験することで、学ぶこともできるし、失敗しても全てを失うわけではない。そんな気持ちで取り組んできました。
 まず大変な年であった一番の理由は、地元上奈良の区長を受けたことでした。ロータリーと同じで10年前に心臓の手術を受けたあたりから要請があり、

父親の介護と重なり、ずっとそれぞれの役目を断り続けてきました。4年前父親が亡くなった時から、皆さんに望まれた役目なら受けようと決断しました。

しかし私の考えは、相当に甘かった。まずは、地元の副区長を受けて区長、区長と副区長の仕事量は雲泥の差があります。

これは、年4回の区会の資料と班長会の資料を作る。ましてや、区会議員は11名、そして班長さんは42名います。いくら前のデータが残っているからと言っても、計画を引き継ぐだけでも大変な作業でした。

毎日毎日何か忘れてないか間違った文章はないか、家内に間違いや訂正箇所を見つけてもらいながら、夜12時近くまで作業をしていた記憶があります。

もともと上奈良の班長数をこなすだけでも大変な作業で、区長・副区長の2名でやってきたことに無理がありました。二人とも退職しておればそれだけにずっと関わっておられるでしょうが、私の場合は仕事も現役、仕事に関わる社団法人も副会長さらに充て職で愛知県社協関連の常任委員を2つ受けもっていました。

そんな中で、地元では副区長が本当に助けてくれました。仕事でも社団法人でも業界仲間が本当に助けてくれました。

ロータリークラブでも例外ではありません。ロータリーの皆さんからも、叱咤激励を受けて、なんとか一年をこなすことができました。

これも執行部4役が親身に関わって助けてくれたからと思っています。

会長挨拶は、ここまでにしておきます。この後は卓話でお話したいと思います。まずは終わります。

幹事報告 -別紙-

幹事 尾関 育良君

祝 福

委員長 田岡 剛君

出席報告

委員 中山 健詞君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
56名	45名	11名	83.33%

ニコボックス

委員 中山 健詞君

○今日は「一年を振り返って」ということで、会長、副会長、幹事、副幹事よりお話しをさせていただきます。宜しくお願い致します。

沢田 昌久、中村 耕司、尾関 育良、佐藤 弘夫
各君

○お陰様で何とか総業49年が過ぎました。出来ることなら50年をこのまま迎えたいです。

倉知 正憲君

○一年間会長職を最後まで務めることができました。一年を振り返っての卓話で思いを語らせて頂きます。

沢田 昌久君

○この前 月曜日にCBC朝イチという番組で大口屋が紹介されました。

伊藤 かね子君

○祝福を担当させていただいた親睦活動委員会です。一年間ありがとうございます。

田岡 剛君

○6/18(木) 一年を振り返って

沢田 昌久君、中村 耕司君、尾関 育良君、佐藤 弘夫君 よろしくお願い致します!

松岡 一成、庄田 元久、古田 嘉且、富永 典夫、片平 博己、岩田 静夫、杵本 哲一、長瀬 晴義、南村 朋幸、波多野 智章、富田 清孝、木本 寛、永田 広光、濱島 聡一朗、岩田 進市、近藤 道磨、三輪 慎一郎、田中 弘一朗

各君

卓話 「一年を振り返って」

会長 沢田 昌久君



改めてこんにちは。

先ほどの会長挨拶の続きで話します。まず、一年間助けて頂いた四役のすばらしい彼らの紹介をしていきたいと思います。幹事の尾関育良君。彼は弁護士をしてみえるだけに叡知に長け、あらゆる面で会長の仕事を冷静かつ実直に助けてくれました。私が、昨年5月29日に一回目の脳梗塞になった時、私の身体を気遣ってくれて、まだ会話もしどろもどろだった時でも次のスケ

ジュールを語ってくれ、また私を立てて励ましてくれました。多分心はこれからどうなるんだろうという不安で一杯だと思います。

会長という立場で、脳梗塞を発症した事実は、私の進退まで左右するかもしれないという怖さが私にはありました。もしかしたら明日の長嶋茂雄になるような可能性 大でした。しかし、食品スーパーから福祉施設まで、やればできる精神のポジティブ人間ですから、言語障害や身体の麻痺も必ず克服できると信じていました。

心臓の手術でさえも、成功率95%と言われれば、失敗はしない、絶対にこの世に戻ってこられると信じていました。だから体や言葉のリハビリにもしっかり取り組むことができたと思っています。

そして次に副会長の中村耕司君。彼は、もちろんフットワークがとても良い行動と実績の人です。ですから、本当なら中村君が入会時に、私が会長になったら、幹事をやらせてくださいといった約束があったのですが、しかし断固固辞されたので、副会長になってもらいました。そして副会長として、しっかり支えますからの言葉で、本当に私は安心して会長職を終えられるところまで来ました。彼の趣味と言っているほどのドライブ同好会へは、何回か連れて行ってもらいました。道と会話、車と会話なんていうのは、これも彼と会った時から開花し、私の人生にこのような楽しいドライブスキルは無かったわけです。父が4年前に亡くなるその前は、夫婦共にした旅行はできたとしても年一回ぐらいでした。夜は、父の夕食の為に、午後5時半に戻らなくてはいけませんでしたが、会合等で自分が遅くなる時は、家内が私の父の面倒をみてくれていました。つらい思いをして1人父の相手をしてくれた家内には本当に感謝しています。

二回目の脳梗塞の時には、ガバナー補佐訪問と重なってしまい、会長挨拶の重責を中村君はきちんと担ってくれて本当に助かりました。

そして副幹事に佐藤弘夫君。彼は静かにして、行動派、人脈もあり、すばらしい人です。サッカーでつちかった経験と福玉倉庫で知り得た体験は大いに私の年度で生かしてくれました。皆さんもご存じの出雲大社2泊3日の家族旅行では、親睦委員長のごとく動いて計画を立ててくれました。この旅行は、私がずっと前から行ってみたかった場所でもあり、三日間をぎゅっと濃縮した思い出の旅行になりました。佐藤さんがいなければ、見る事ができない鉄砲隊や、出雲大社であり、松江城であったと思います。

そして12月に行った、年末年忘れ家族会の場所は名古屋観光ホテル。

エレクtoon奏者の826ASKAさんの演奏と美味しい食事は親睦委員長の田岡君のお陰で、皆さんに楽しんでいただくことができました。

そして、最後に忘れてはいけない、青少年奉仕で行った積み木のワークショップ。これは、私がやりたかった子供と積み木のふれあい教室でしたが、当初なかなか青少年奉仕委員長の動きが悪く、また私のイメージも会員の皆さんに伝えることができませんでした。やむを得ず新しい委員長の林君にバトンを渡し、そしてイメージを伝えたところ、本当にすばらしい形で、少ない予算ではありましたが、地区補助金事業を完成させてくれました。

たくさんの積み木を使って、子供たちとドームを協力して作り上げる、本当に楽しいイベントにしてくださいました。ロータリアンもしっかり汗をかくことができました。

今までの、皆さんの協力は本当に忘れることはできません。私の限られた人生をロータリーと共に過ごせる幸せを、強く感じます。

私は決して大きな舞台で活躍できる人間ではありませんが、これから巡ってくるロータリーの役割なら、【ロータリーにノーは無い】の精神で引き続きB免を出さずに、命ある限り頑張っただけです。そして、私の年度で活躍していただいた、各常任委員長の皆さん、そしてその他の委員長の皆さんには、この場を借りて厚く厚く御礼を申し上げます、本当に一年間ありがとうございました。

副会長 中村 耕司君



本度 沢田会長のもと副会長を務めさせて頂きました中村耕司です。

一年前の7月3日、本年度の目標及び方針計画発表の際にお話した、今年度の副会長としての取組目標は「クラブ奉仕を意識して、経験を活かしクラブ運営の全体バランスを図り、魅力ある例会にするべく尽力したい。」でした。

実際は、執行部の打ち合わせ時には意見を申し上げることができましたが、魅力ある例会にするべく例会中に取り組めたことはあまりなかったと感じています。

例会は各委員会の方によって運営されており、皆さん役割をしっかりと対応されていて安心して例会を迎えることができました。ありがとうございました。ただ、一年を振り返ると、10月9日ルートイングランティア小牧で行われました 鈴木ガバナー公式訪問の際に、沢田会長が前日の夜に緊急入院され、会長代理として例会前の懇談会、例会の会長挨拶を行い、貴重な体験をさせていただきました。

懇談会は、岩倉RC、愛知友愛RCの会長幹事も出席され、両クラブの親クラブとして江南RCの立ち位置も意識しながらの発言も求められ、尾関幹事には何度も助けていただき終えることができました。尾関幹事ありがとうございました。

ガバナー公式訪問の前日の20時30分ごろに沢田会長の奥様から緊急入院の連絡頂き、夜は事務局休んでいますので、会長挨拶の原稿が提出済かどうか分

からず、あわてて会長挨拶を作成したのを思い出します。実際は、既に沢田会長は事務局に挨拶原稿を提出済でしたので当日は代読させていただきました。

ただ、代読といえども、縁尋機妙(えんじんきみょう)、多逢聖因(たほうしょういん)、知行合一(ちこうごういつ)の様な難しい四字熟語が並んでいて、私には意味もあまり分からないし、噛まないようにゆっくり読み上げるのがやっとでした。もう少し文化的な教養を深めたいと痛感した一日でした。

年度も後半になり、時間が経つにつれ副会長の役割を考察してみました。

副会長の役割は、会の全体を俯瞰して眺め 会長が進めたい方向へクラブ全員が落ちこぼれることなく進んでいける様に補佐する役目だと思います。

小学校の通学班で言うと 班長はクラブ会長の沢田さん

副班長は クラブ副会長の中村

通学途中はいろいろなことがあります。

先頭を班長さんが歩き全体をコントロールします

副班長は

自転車が来たら片側に避ける様注意を飛びかけたり

小学一年生は歩くのが遅いのでそのペースに合わせてゆっくり歩いたり

夏は熱中症に注意しながら水分補給を促したり

靴紐がほどけてる子がいたら教えてあげて一緒に立ち止まり 紐を結び直したら一緒に早歩きして班に戻ったり

集合時間に遅れがちの子には家まで迎えに行ったり

副班長は班の最後方から全体を俯瞰してバランスを取り舵取りの微調整役を担うお役目です。

言い換えると 会長幹事は推進役で目の前の課題に取り組んでいますので副会長はバランスの役です

だからクラブ運営に於いて全ての委員会 会員に話しかけしながら、また 話しかける権利もあるので部分最適 全体最適を意識するポジションだと思います。

ですから何気ない一言で例会の雰囲気良くなることもあると思います

誰にも気付かれなくても気配りして感じる能力を高める必要があるとやっと最近気がつきました。

マイペースのB型なので私にとってできないことへのチャレンジでした。

副会長というお役目を頂き、新たな自分の気づくこともできました。

ロータリー活動は、一生学びの場であると思います。次年度以降もこの経験を活かしクラブ奉仕に取り組んでまいります。

一年、お世話になりました。有難うございました。

幹事 尾関 育好君



江南ロータリークラブに入会させていただいてから4回目のワールドカップを迎えた尾関育好です。月曜日のオランダ戦の興奮が冷めやらぬ中で、本年度の幹事として一年を振り返り、ご挨拶をさせていただきます。

ちょうど一年前、東尾張分区の会長幹事会と潮州ロータリークラブの60周年記念式典に参加していた頃は、いよいよ沢田年度が始まるな、1年無事に終わることができるだろうか、と不安に思っていました。その一年後、先日、本年度の会長幹事会がありました。昨年の会長幹事会のとときは全く気分が違い、何とか無事終われそうだ、とほっとして気楽に参加することができました。

昭和50年代に一世を風靡した女性デュオのヒット曲の歌詞に「信じられないことばかりあるの」というものがあります(ピンク・レディーの「UFO」)が、私にとっては、まさにそのような一年でした。

まず、5月末に沢田会長が倒れられました。幸い、重篤な症状ではないとお聞きし、ほっとしたのも束の間、今度は、RI会長が交代になるという前代未聞のニュースが入ってきました。想定外の出来事が立て続けに起こり、7月に沢田丸が無事出航できるのか、と途方に暮れかけました。そして、この1年は、荒波の中での航海になるのではないかと不安になりました。

幸いにして沢田会長は直ぐに復帰され、何とか7月に本年度をスタートすることができました。

今年度は、補助金事業、親睦家族旅行が上半期にあり、色々慌ただしい半年でありましたが、北畑奉仕プロジェクト常任委員長、林青少年奉仕委員長、田岡親睦委員長をはじめ、皆様のご協力をいただき、無事に終わることができました。特に林委員長には、急な委員長のお願いにもかかわらず、素晴らしい対応をしていただき、また、田岡委員長にはイベントが立て続けに企画されているスケジュールの中でご対応いただき、誠にありがとうございました。

行事の詰まった上半期を終え、下半期は粛々と例会を消化していただけたとほっとしたのも束の間、不安は的中し、ふたたび信じられないことが起こりました。

事務局の渡邊さんが体調不調でしばらくお休みされることになりました。無事に体調が回復されましたので良かったのですが、事務局さん不在で通常例会を開くのは結構大変でした。

まず、例会次第とセクレタリーを作成しないとい

けません。これが想像以上に大変です。他クラブ情報を確認し、祝福の対象者を確認し、地区の予定を確認しないと作成できません。自慢ではありませんが、江南ロータリークラブでセクレタリーを作成したことのある幹事は、ほとんどいないと思います。そして、会報誌も印刷しておく必要があります。これは、会報委員会にお願いさせていただきました。野々垣会報委員長、ありがとうございました。また、ニコボックスや出席については、SAAの川崎さん、山崎例会運営委員長にお任せ致しました。ありがとうございました。

その他、例会当日も、シルバーさんのために9時30分に事務局の鍵を開けたり、米山奨学生の奨学金の準備をしたり、どこにあるのかわからない備品を探したりなど、色々準備することがあるため、事務局さんがいないとクラブ運営が全くできないことを実感致しました。ですので、皆さん、事務局さんは大切にしましょう。そして、何でもお願いするのではなくて、できることはなるべく自分達でやるようにしましょう。

これだけで話を終わってしまいますと、ただただ大変な一年だったアピールになってしまいそうですが、これも振り返ってみれば、色々あったなと懐かしむことのできる思い出ばかりです。

そして、今年度は、会長幹事会や他クラブの例会に出席させていただき、自クラブ外のロータリアンの皆様とお会いできました。私は、メイクアップは基本的にインターネットで行っていますので、他クラブの実例会に参加するのは久しぶりでしたが、異文化に触れるような感じが楽しかったです。こうして交流できるのが、ロータリーの良さだということを実感した1年でもありました。

そんな1年もあったという間で、何とか終わることができそうです。これもひとえに、皆様のご協力あってのことです。各常任委員長、各委員長はじめ、皆様には、本当にお世話になりました。

最後になりますが、至らない点が多々あり、沢田会長にはご迷惑をお掛けし、申し訳ございませんでした。また、私の持っていない、別の観点から意見や助言をいただきました中村副会長、親睦家族旅行の手配など、裏方でがんばっていただきました佐藤副幹事には大変お世話になりました。ありがとうございました。佐藤副幹事には、一度は幹事報告の機会を、と考えていましたが、何とかこの一年は裁判所の期日のやりくりが上手く行き、例会を欠席することがありませんでした。ただ、次年度は、やりたくなくても嫌というほどやることになりますのでそれで良かったかなと思います。

そして、至らない点が多々あり、皆様にご迷惑をおかけしたと思いますが、何卒ご容赦いただけますと幸いです。

一年間大変お世話になりました。

副幹事 佐藤 弘夫君



本年度、副幹事を務めさせて頂きました、佐藤弘夫です。

副幹事の役割は、まず例会時に4役名のニコボックスのメッセージを書くこと。次に理事会の時に議事録を作成することですが、メモ程度で良かったのでそんなに難しくはなかったです。

ただ、ガバナー補佐訪問時のクラブ協議会では、正式な議事録を作成しなければならなかったもので、ボイスレコーダーを使って、聞き返しながら作成したので少し面倒でした。あとは、会議等の準備の手伝いをするぐらいでそうは大変ではなかったと思います。

一番重要な役割は、幹事を補佐し、幹事不在の時はその任務を代行するというところですが、尾関幹事が、最初は仕事の都合で例会を欠席しなければならぬとおっしゃっていましたが、欠席されなかったもので、任務を代行することもなく終わってしまいました。

その他には、毎月4役会というのがあって、理事会に提案する議題やその内容を確認したりする重要な会議であることを認識しました。これは、次年度に大変参考になりました。

皆様には、いろいろな場面で助けて頂き、1年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。引き続き、次年度で幹事を務めさせて頂きますのでよろしくお願いいたします。

また、「副幹事の仕事ではなかったのですが、沢田会長が親睦家族旅行は『出雲大社』と言われ、大町と松江市は友好姉妹都市の関係から、松江観光協会や松江城鉄砲隊に協力してもらって江南RCオリジナルの旅行ができたことは良かったと思っています。」

点 鐘

会長 沢田 昌久君

本日の食事



6月18日(木) IDM 於 味の魚仙
会計・副会計・会員増強委員会、会員選考委員会、R情報IT委員会、会報委員会、R財団委員会、米山記念奨学委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会



(担当: 副委員長 木本 寛)